



「診療報酬に関する講演会」の
ようす
令和元年
12月9日(月)



No.

24



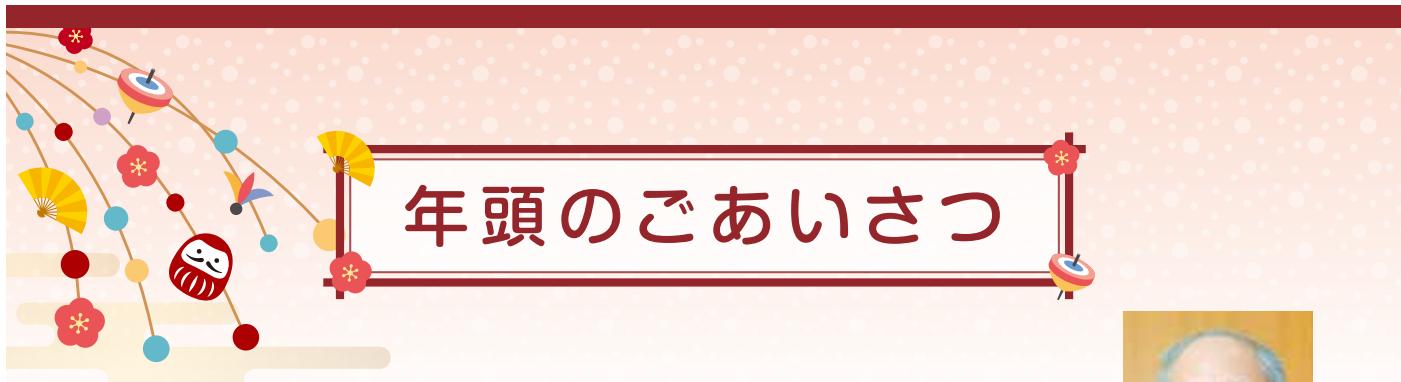
北海道病院だより

病院理念

地域の人々を中心とした
質の高い医療・介護を提供し、
地域から信頼される病院に
なります。

基本方針

- 1.一人一人の権利を尊重し、人間愛を基調とした医療・介護を行います。
- 2.安全を第一に説明と同意に基づく医療・介護を行います。
- 3.地域との連携を推進し、求められる医療・介護を行います。
- 4.地域の健康増進をめざし、保健予防活動を推進します。
- 5.地域医療機能の推進をもって医療・医学の発展に貢献します。



年頭のごあいさつ

新年明けまして
おめでとうございます。



院長
古家 乾

記録的な降雪量の少なさで過ごしやすい年末年始でしたが、雪まつり対策は5トントラックで6000台分の雪の確保が必要とのことで、雪不足対策が大変のようです。昨年のラグビーワールドカップと今年の東京オリンピックの開催は日本が2年に渡って世界にアピールできる機会です。札幌も競歩とマラソンの開催が決まりましたが、夏のYOSAKOIソーラン祭りやビアガーデン開催時期と近接することから、その準備もまた大変のようです。

本と医療界はどのようになるのでしょうか？

2年続けて大規模な台風や水害が続き、今冬の暖冬も地球温暖化の影響が否定できません。また平成における震度7を記録した地震は5回ありましたが、平成23年度の東日本大震災、平成28年度の熊本地震それと一昨年の北海道胆振東部地震は記憶に新しいところです。本道では日本初の「ブラックアウト」を経験し、各病院が災害時の事業継続計画(BCP)の作成に取り組んでいることと思われます。

令和初の新年を迎えて今年の日

昨年3月、札幌医科大学病院を中心となり近隣5病院で災害時相互支援協定(東円山通り災害時協定)が締結されたと報道されましたが、この豊平区や札幌南部地域でもこのような取り組みが必要ではと感じました。地域医療構想は、それぞれの地域の医療機関が相互の情報を共有してそれぞれの役割を担う処から地道に始めるのが重要と考えます。

医療界では、まさに昨年9月末に報道された病院統合・再編に絡む地域医療構想、医師の偏在対策、および医師・医療従事者の働き方改革が三位一体で推進すべき候補として挙げられ、令和2年度の予算案もそれに応じて組まれています。また昨年秋の消費増税に伴う診療報酬改定に引き続き、4月の診療報酬改定も本体部分はプラス0.55%の改定率となり、重要課題とされている医師等の働き方改革への配慮もされる予定です。病院運営は難し

い時代になりましたが、当院としましては、今年もよりよい地域医療包括ケアを目指して職員が一丸となって改善と改革を進める所存です。地域の医療関連機関の皆様のご理解とご協力を今年もよろしく御願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のご発展とご健勝を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。





新年のあいさつ



副院長
広瀬 崇興
(ひろせ たかおき)



新年明けましておめでとうございます。令和になって初めての令和2年の新年のご挨拶をさせて頂きます。

当院は5年前に「北海道社会保険病院」から「ジェイコー北海道病院」に改名しましたが最近はその名称もかなり認識されるようになったと感じております。当院は豊平区及び南区地区の総合病院として近隣の診療所とも連携をとて地域の皆様の健康を維持するために貢献しております。

特に今年度は4月からは、しばらく不在であった循環器内科の常勤医2名の就任が予定されており、より診断内容が充実すると期待しております。

その他、広報活動の一つとして地域の皆様に対し、「地域講演会」と称して当院の総合支援センターが主体となり各科の先生方による話題の疾患や病態についての講演会を数か月毎に開催しております。場所はいろいろで院内施設の他、近隣の町内会館や区役所の関連施設です。講演内容、日時、場所のアナウンスは当院のホームページまたは正面玄関掲示板の案内用紙、近隣の町内会の回覧板などで行っておりますので、よろしくご利用ください。

最後に地域の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げて、新年の挨拶とさせて頂きます。



副院長・
呼吸器センター長
秋山 也寸史

明けましておめでとうございます。

令和初めてのお正月は雪も少なく、皆さまご家族と穏やかなお正月を過ごされたことと心よりお慶び申し上げます。札幌南部地域に根ざして、JCHO北海道病院での質の高い医療と付属老健施設JCHO中の島での優しい介護を提供できますように、本年も各診療科、各職種の力を合わせて職務に励んで参ります。

呼吸器センターとしては、肺癌、肺炎、喘息、間質性肺炎、肺結核、重症呼吸不全等幅広い領域の疾患のご紹介をお断りすることなく迅速にお受けし、最新医療を患者さまに優しく丁寧に提供することをこれまでと同様に心がけて参ります。

何かお気づきの点がございましたら率直なご意見をいただけますと幸いです。

本年も何とぞ宜しくお願い申し上げます。



副院長・
消化器センター長・
地域ケアマネージメント
センター長
数井 啓蔵



新年明けましておめでとうございます。一昨年、北海道は胆振東部地震によるブラックアウト、平岸爆発事故など災害が多かったですが、昨年は大きな自然災害や事故はなくほつとしています。今冬は雪も少なく過ごしやすいお正月を迎えることができました。

私は昨年7月より広瀬副院長の後任として札幌市医師会豊平支部勤務医班長を仰せつかりました。医師会活動は初めてであり戸惑っておりますが、活動の中で豊平区の病院、クリニックの先生方とお会いする機会が増え、「顔の見える連携」が構築されていくのを実感しております。今年度は、当院は循環器内科病棟の再開、NICUの体制の変更などがあり、新任医師の紹介、科の特徴などを紹介できるような場（仮称：地域連携登録医会）を設定し、地域の先生方との親睦をさらに深めたいと考えております。

また、総合支援センター（GSC）は、開設2年を迎えます。患者情報を入院前からできるだけ把握し、退院困難のリスクのある患者さんについては専従スタッフが早期退院をサポートさせていただいている。医師や病棟看護師の負担軽減のみならず、これからも患者さん、家族にとって満足のいく退院支援ができるよう心がけていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



JCHO北海道病院附属
介護老人保健施設
副施設長（病院事務部長）
小野寺 正逸

明けましておめでとうございます。新年にあたり一言ご挨拶申し上げます。

記録的な少雪・暖冬で札幌市は積雪0の状態で年を越えたとのことです。例年悩まされる除雪も今年は今のところなしです。札幌雪祭りを始めとした北海道の冬まつりの開催が危ぶまれたりスキー場は青色吐息で、果たしてこの少雪・暖冬傾向がこのまま続くのか、それともどこかでドカンと大雪が来るのか、この状態、これはこれで気を揉むところです。

昨年はラグビーワールドカップで日本中がラグビーに熱中し、「ONE TEAM」が流行語になりました。

医療・介護の現場においても患者さんや利用者の皆様に対して「ONE TEAM」で接することはもはや常識です。JCHO北海道病院附属介護老人保健施設においても入所・通所を行う老健施設と、「介護予防センター」、「居宅介護支援センター」が三位一体となって利用者の皆様の介護や、地域の介護拠点となれるよう多職種の職員が「ONE TEAM」で対応する所存です。

本年も皆様のご支援ご指導を頂けますようよろしくお願ひいたします。



第53回

リバーサイド 消化器懇話会

副院長・消化器センター長 数井 啓蔵

令和元年11月12日(火)18:20より
当院3階講堂において、
**第53回リバーサイド消化器懇話会が
開催されました。**

参加者は院外医師23名、院内参加者21名、計44名でした。

前半の一般講演は3題あり、「虫垂炎を契機に発見された盲腸癌の検討」、「術前化学療法を行った膵頭部癌の検討」、「劇症型A群溶連菌感染症(TSLS)による急性腹膜炎の検討」でした。

後半の特別講演は座長に札幌しらかば台病院長 遠藤高夫先生、講演者に国立病院機構 函館病院長 加藤元嗣先生をお招きし、「新規酸分泌抑制剤の登場によって変わりゆく逆流性食道炎」をご講演いただきました。

ボノプラザンフマル塩酸(P-CAB)は、PPIより作用発現が早い、作用持続時間も長い、胃酸の影響も少ないなどのすぐれた薬理作用をご講演いただき、また逆流性食道炎の寛解後にOn demandに使うこともできることも教えていただきました。

参加者からもたくさんの質問が出て、活発な懇話会となりました。



JCHO 学会報告

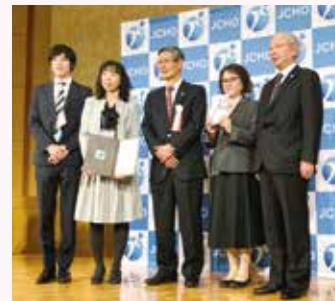


2019年11月1日(金)、2日(土)の2日間、神奈川県のパシフィコ横浜会議センターで、「第5回JCHO地域医療総合医学会」が開催されました。

当院からは、一般公演の演者として7名、各部会が企画した指定シンポジウムのシンポジストとして2名、各部会への参加者など含めて総勢28名が参加しました。また職場チームによる業務改善の取組みに係る発表・最優秀賞審査では、当院からは昨年のチームNST!!!に続き、TEAM MBDによる「ベンゾジアゼピン受容体作動薬の減薬への取組み」が優秀賞に輝きました!

TEAM MBDメンバー

古家 乾(院長)、長井 桂(呼吸器内科医長)、志田 玄貴(膠原病内科医師)
宗山 薫(看護師長)、柴田 えり奈(看護師長)、成澤 美佳(看護師長)
鶴田 美紀(看護副師長)、早瀬 美香(医療安全管理室長)、佐藤 裕美(薬剤師)
高橋 奈々恵(薬剤師)、池田 友樹(作業療法士)、末廣 孝(医事課長)



参加報告

4階北病棟 NICU 副看護師長 大喜田 純子

私は、令和元年11月1.2日に神奈川県のパシフィコ横浜会議センターで行われた「第5回JCHO地域医療総合医学会」に参加してきました。

今回の学会のテーマは「士魂商才」でした。

1日目の特別講演では、NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長の宇津木妙子氏より「努力は裏切らない—組織の力を強くするには—」という医療従事者として信頼関係を基盤とした組織作りの大切さについての講演がありました。

2日目は、「NICUにおける療養環境を継続するための取り組み～退院前訪問を通して～」を発表しました。発表を通して改めてNICUスタッフには家族の養育力を見る力が求められており、ネグレクトなどの虐待に移行しないように、入院中から医療機関と地域が連携することが重要であると感じました。

今後も地域周産期母子医療センターとして産婦人科病棟や小児科病棟と情報共有・連携を強化することで新生児やその家族にとって安心で安全な看護を提供し、よりよい退院支援が行えるようにチーム全体で取り組んでいきたいと思います。

老健での看取



介護老人保健施設 看護師長 上山 真弓

**当施設は、平成13年4月1日、
旧北海道社会保険病院附属
介護老人保健施設サンビュー中の島という
名称で誕生しました。**

当時、老健はリハビリ施設の役割を担っていましたが、今は看取りのニーズにも対応できるように数年前から本格的に取り組んでいます。老健での看取りは、必要最小限の医療行為がされるのみで、自然な環境のなか、なじみのある職員や家族に見守られながら穏やかな最期を迎えることができます。その人らしく生きてもらうために併設病院の支援や応援をもらいながら、施設職員が主体的にグリーフケアを含め、家族の悩みに寄添いながら共にかけがえのない時間を過ごすことができます。

利用者さんが私たちに命の繋がりを教えてくれている、残された僅かな時間をプレゼントしてくれる時があります。命がけの時間を共に過ごせることは有難いことです。その時間は「ちゃんと私らしい命の引継ぎをしてね、あなたを信じていますよ。」とメッセージを頂いているように感じます。命がけでその人らしく生きている証を残してくれたエピソードがあります。気丈な母親をお看取りしたご家族は、ひとすじの涙を流されて旅立った姿を見て、「なんて人の死は神々しいものか、母が人の死を哲学の如く身をもって教えてくれるとは思わなかった。母を心から尊敬します。」この利用者さんもご家族も人間味溢れる感性豊かな素敵なお人柄でした。他にもまだまだ沢山あります。職員が居室に思い出の写真やメッセージカードを壁に貼り、ご家族も喜ぶ姿を見て幸せを感じていますが、あるご家族が職員へのメッセージを貼ってくれました。訪室の度に新しいカードや写真が増えて癒しと感動のおもてなしを頂き、慈愛の心に触れ、思いに寄り添う心をケアの力に繋げることの大切さに気づきました。ご家族と一緒に悩みながらも命に向き合ったという事実が、これから生きていく勇気と支え合うケア提供へと導いてくれるように感じます。

JCHO中の島の看取りケアは、音楽サロン、喫茶やドックセラピーなど、ボランティアさんも来てくれています。人と人との縁や繋がりを大切にしているので、人間力を回復させることができる素晴らしいケアだと思っています。これからも今日というかけがえのない日常の中で、命の大切さを痛感しながら共に過ごせる今に感謝し、この貴重な経験を紡いで豊かな未来に繋げる努力をしていきたいと思います。

お知らせ**研修会の実施報告****診療報酬に関する講演会**

日 時 令和元年12月9日(月)

場 所 当院講堂

講 演 令和2年度診療報酬改定の動向

講 師 一般社団法人 日本血液製剤機構 事業戦略部 谷澤 正明 先生

参加人数／55名

今後の予定**第54回 札幌南部呼吸器懇話会**

日 時 令和2年2月19日(水) 18:30～20:40

場 所 当院講堂

講 演 関節リウマチ治療薬により肺合併症

講 師 当院 呼吸器内科 医長 長井 桂

地域講演会

日 時 令和2年3月2日(月) 「耳の日」 14:00～15:30

場 所 当院

「補聴器について」～その聴こえあきらめないで～

講 師 当院 耳鼻咽喉科 医長 太田 亮

「認知症と聴こえの関係」

講 師 当院 認知症看護認定看護師 柴田 えり奈

当日は補聴器の体験会も予定しています

第54回 リバーサイド消化器懇話会

日 時 令和2年3月10日(火) 18:20～20:30

場 所 当院講堂

講 演 『新規薬剤を含めた「便秘」の治療戦略』

講 師 当院 消化器科センター 医長 定岡 邦昌

詳細は総合支援センターまでお問い合わせください。

災害救急指定日**〈令和2年〉 2/10(月)、2/13(木)、3/10(火)、3/21(土)**

※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金
総合診療救急科	午前・午後	内科系 山本 浩平 長井 桂	志田 玄貴 正村 裕紀	前田 由起子 長井 桂	谷口 菜津子	前田 由起子 大江 真司
		外科系 数井 啓蔵 庄野／酒井／岩崎 (交代診療)(午後)	岩崎 美憲(午後)	庄野／酒井／岩崎 (交代診療)(午後)	酒井 俊彦(午後)	数井 啓蔵 庄野 泰弘(午後)
循環器内科	午前	五十嵐 康己	木村 銀河	木村 銀河	木谷 俊介	木村 銀河
心臓血管外科	午後(診療13:00~)			木村 銀河		木村 銀河
呼吸器内科	午前	1診 秋山 也寸史 2診 水島 亞玲	原田 敏之 谷口 菜津子	原田 敏之 谷口 菜津子	長井 桂 水島 亞玲	秋山 也寸史 長井 桂
消化器内科	午前	1診 古家 乾 2診 馬場 英	古家 乾 馬場 英	古家 乾 馬場 英	森川 賢一 定岡 邦昌	田上／古家(初診) 馬場 英
		3診(予約) 田口 純[化学療法]	合田 智宏[化学療法]	竹内 啓[化学療法]		
		午後(診療14:00~) 坂本 直哉(予約)				
腎臓内科	午前	楠 由宏		関 真秀	楠 由宏	関 真秀
膠原病内科	午前(予約)	志田 玄貴	浄土 智		浄土 智	志田 玄貴
糖尿病・内分泌内科	午前	1診 山本 浩平 2診 牧野 圭祐	山本 浩平 牧野 圭祐	牧野 圭祐	牧野 圭祐	國崎 哲
	午後(予約)	1診 2診	國崎 哲(14:00~)	牧野 圭祐(13:30~)	國崎 哲(14:00~)	國崎 哲(14:00~)
	午前		大江 真司(予約)	竹内 正	大江 真司(予約)	
	午前	1診 澤田 博行 2診 椿 淳子 3診 板倉	大原 夕季 椿 淳子 板倉	大原 夕季 椿 淳子 板倉	大原 夕季 椿 淳子 板倉	澤田 博行 椿 淳子 中久保 佐千子(9:00~) 【神経】(月2回)
小児科	11:00~11:30	4診		新生児フォローアップ	新生児フォローアップ	
	午後(診療13:30~)	一般 慢性外来(予約) 澤田 博行 【慢性・発達】	板倉	乳児健診(予約) 伏屋 菜穂 【喘息・アレルギー】	大原 夕季 中島 泰志 【腎臓】	中島 泰志
	13:30~14:30			予防接種[予約なし] (受付時間12:30~14:30)	中久保 [神経](月2回) 谷口 [心臓]【予約】(月2回)	1ヶ月健診(予約) 【産婦人科外来】
				新生児フォローアップ	新生児フォローアップ	
整形外科	午前	1診 庄野 泰弘 2診 酒井 俊彦(10:00~) 3診 岩崎 美憲	庄野 泰弘 酒井 俊彦 岩崎 美憲			交代診療(10:00~)
外科	午前	一般 敦賀 陽介 予約 乳がん検診	数井 啓蔵 乳がん検診	数井 啓蔵 乳がん検診	正村 裕紀 乳がん検診	正司 裕隆 乳がん検診
	午後(診療14:00~)	一般 乳房外来(予約)	出張医(第1・3週)			
泌尿器科	午前	1診 広瀬/出張医(交代診療) 2診 新海 信雄	広瀬 崇興 新海 信雄	広瀬 崇興 新海 信雄	広瀬 崇興(10:00~) 新海 信雄	広瀬 崇興 新海 信雄
	午後(診療13:30~)	広瀬/出張医(交代診療)			広瀬 崇興(予約)	
産婦人科	午前	1診 山田 俊 2診 小野寺 康全(初診) 3診 山村 満恵	佐々木 瑞恵 小山 貴弘 山村 満恵	小田 泰也 小野寺 康全 山村 満恵(初診)	小山 貴弘 小田 泰也 佐々木 瑞恵(初診)	山田 俊 小山 貴弘(初診) 小野寺 康全
		助産師外来	助産師外来		助産師外来	
		1診 山田 俊 2診 交代診療(初診) 3診 助産師外来	佐々木 瑞恵 交代診療(初診) 助産師外来	山村 满恵 交代診療(初診) 助産師外来	交代診療(初診) 助産師外来	交代診療(産後) 助産師外来
	午後(診療14:00~)		助産師外来	助産師外来	助産師外来	
眼科	午前	1診 藤尾 直樹 2診	藤尾 直樹 高橋 智恵	藤尾 直樹(予約) 高橋 智恵	藤尾 直樹 高橋 智恵	藤尾 直樹 高橋 智恵
	午後(診療14:00~)				藤尾 直樹	
耳鼻咽喉科	午前	1診 保立 裕史 2診 太田 亮[予約なし]	保立 裕史 太田 亮	金谷 健史[紹介・予約のみ] 交代診療	保立 裕史 太田 亮	保立 裕史 太田 亮
	午後(診療14:00~)	1診 2診	保立 裕史 太田 亮			保立 裕史 太田 亮
	午前	1診 遠藤 元宏 2診 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也	遠藤 元宏 半田 稔也
	午後(診療14:00~)	1診 遠藤 元宏	半田 稔也			遠藤／半田 (交代診療)
麻酔科(ペインクリニック・予約)	午前	実藤 洋一		神田 知枝		笠井 裕子
放射線診断科	午前	杉浦 充			杉浦 充	
禁煙外来(予約)	午後(診療13:30~)	長井 桂			原田 敏之	

《午前の受付時間》8:00~11:00(診療開始8:45~) 《午後の受付時間》12:30~15:30(診療開始は各診療欄をご覧ください)

担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

病院代表電話 : 011-831-5151 予約変更直通 : 011-831-5489(平日 9:00~16:00)

JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18
TEL 011-831-5151(病院代表)URL <http://hokkaido.jcho.go.jp><https://www.facebook.com/jchohok>

(医療機関専用 : 総合支援センター直通)

TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005

↑ QRコード読み込みで
病院ホームページへ